

 日语阅读坊

日本传说故事阅读

编译 李雪梅

江璐璐

李向辉

世界图书出版公司

* 日语阅读坊 *

日本传说故事阅读

李雪梅 江璐璐 李向辉
编译

世界图书出版公司

北京·广州·上海·西安

图书在版编目 (CIP) 数据

日本传说故事阅读:日汉对照/李雪梅,江璐璐,李向辉编译. —北京:
世界图书出版公司北京公司,2010.1

ISBN 978-7-5062-9520-8

I. 日… II. ①李… ②江… ③李… III. ①日语—汉语—对照读物
②故事—作品集—日本 IV. H369.4: I

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 200463 号

日本传说故事阅读

编 译: 李雪梅 江璐璐 李向辉

责任编辑: 赵大新 刘承芬

装帧设计: 艺 洸

出 版: 世界图书出版公司北京公司

发 行: 世界图书出版公司北京公司

(地址: 北京朝内大街 137 号 邮编: 100010 电话: 64077922)

销 售: 各地新华书店和外文书店

印 刷: 三河国英印务有限公司

开 本: 880mm × 1230mm 1/32

印 张: 7.75

字 数: 196 千

版 次: 2010 年 1 月第 1 版 2010 年 1 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-5062-9520-8/H·1055 定价: 22.00 元(含 MP3 一张)

版权所有 翻印必究

前 言

“日本昔話”(日本传说故事)尤其是鬼怪传说充斥在我们所熟悉的日本电影、电视剧、动漫等各种传媒中,日本的小孩子对“日本昔話”更是到了“まんま(ごはん)の一かけくらい食わんでも、むかし(昔話)を聞きたい(宁可不吃饭,也要听故事)”的痴迷程度。

这里的“昔話”是民间传说的一种,是日本民俗学奠基人柳田国男提出的学术用语。也称做“むかし、むかしこ、むかしがたり”,是源于民众的一种口头文学,和我国的民间传说一样,人物的出场时间、地点和身份都很模糊,故事情节也有很大的地区差异。

本书选择了一些经常出现在影视作品中的、在日本脍炙人口的传说故事,对其进行了注释和翻译,希望以此为各位学习日语提供有趣的素材,同时加深对日本文化的理解。

由于篇幅及个人能力所限,选材上尚有不尽人意之处,盼望广大读者提供宝贵意见和建议。

编 者



日本传说故事之歌

につぼん昔ばなし

かわうちこうはんさくし きたはら さつきよく
川内康範作詞・北原じゅん作曲

ぼうやよい子だ ねんねしな

乖乖好孩子 快睡吧

いま むかし
今も昔も かわりなく

现在与从前 没有改变

はは
母のめぐみの こもり歌

妈妈温暖的 催眠曲

とお むかし
遠い昔の ものがたり

很久以前的故事

ゆめをたぐれば ほろほろと

扑簌扑簌地拉出梦境

はな
花もほころぶ かぐやひめ

月亮公主(美得)让花儿也绽放

ひと
人のなさけが しあわ
幸せを

人的感情可以召唤幸福

そつと運んだ かさじぞう
笠地藏

悄悄送来年货的草帽地藏佛

いっすんぼうし
一寸法師は どこにいる

一寸法师在哪里

ぼくもわたしも おに
鬼たいじ

你我都去降妖除魔

ゆうき りりん て
勇気りんりん 手をつなぎ

充满勇气手牵手

せいぎ
正義のための ももたろう
桃太郎

正义的化身 桃太郎





つる 鶴のまことの おんがえし 恩返し

仙鹤真心的报恩

たぬき ぶんぶく ちや 茶をわかし

狸猫给煮的茶

うさぎ こがめと かけっくら

龟兔的赛跑

そら 空じゃ てんによ 舞 ま 舞いを舞う

天空中仙女在飞舞

ぼうやよい子だ おっきしな

乖乖好孩子 要记牢

した き 舌切りすずめが とんできた

被切了舌头的麻雀飞过来

あれは はな 花さかおじいさん

那是开花老爷爷

あれは うらしま たま てばこ 浦島 玉手箱

那是浦岛太郎的玉手箱

とお 遠い むかし 昔の ものがたり

很久以前的故事



目 录

前 言	1
日本传说故事之歌	1
第一章 日本の五大昔話 日本五大故事	
1. 桃太郎	3
桃から生まれた桃太郎が、お供を連れて鬼退治。	
2. 舌切雀	8
大きなつづらと小さなつづら、どちらがいいですか？	
3. カチカチ山	15
悪い狸を、兎が懲らしめるお話。	
4. 花咲かじいさん	22
枯れ木に花を咲かせるおじいさん。	
5. サルカニ合戦	28
ずるいサルがカニを騙して、カニの友達に懲らしめられたお話。	
第二章 悲しくなる話 悲情故事	
1. 浦島太郎	35
カメを助けた浦島さんが、助けたお礼に竜宮城へ。	





2. 雪女 41
雪女がお嫁さんになりました。でも…。
3. ツルの恩返し 47
助けたツルが、布を織って恩返し。
4. 犬飼い七夕 54
日本版の七夕物語。99 足のわらじで天に昇りますが…。
5. かぐやひめ 60
竹から生まれたかぐやひめ。やがて、月へ帰ることに。

第三章 心温まる話 温情故事

1. ねずみの相撲 67
金持ちの家のねずみと貧乏の家のねずみの相撲。
2. 笠地藏 75
笠をくれたおじいさんに、お地藏さまが恩返し。
3. 子育て幽霊 79
アメで子供を育てる幽霊。
4. 三人兄弟 86
旅に出て、それぞれ腕を磨いた3 人の兄弟。
5. 金の鳥居 91
貧乏夫婦の考えた、金の鳥居とは？
6. うば捨て 97
うば捨て山とは、お年寄りを捨てる山です。
7. ふんぶく茶がま 103
タヌキが茶がまに化けて、助けてくれた人に恩返し。





第四章 まねして失敗する話 弄巧成拙的故事

1. こぶとり爺さん 111
踊りの上手なおじいさんは、鬼にこぶを取ってもらい。
2. 天福地福 117
初夢が本当になり、お金持ちになった正直じいさん。
3. しっぼの釣り 124
サル顔が赤くて、しっぼの短い理由。
4. 若返りの水 127
若返る不思議な水。欲張って飲み過ぎると…。
5. 歌の上手なカメ 132
感心な弟のために、カメが歌を歌ってお金儲け。
6. 不思議な宝下駄 137
転ぶと小判の出てくる下駄。でも、そのかわりに…。
7. 塩吹き臼 144
海の水はなぜしょっぱい？

第五章 はてなと考える話 脛炙人口的的故事

1. 一寸法師 151
小さな一寸法師。打ち出の小槌で立派な若者に。
2. 古屋の漏り 157
ドロボウよりもオオカミよりも怖い、古屋の漏り。
3. 十二支の由来 163
干支には、なぜネコ年がないのか。
4. 卵のような顔 168
妖怪、のっぺらぼうの話。





5. ろくろっ首…………… 174
ろくろっ首を見た男の正体も、実は…。
6. ウサギとカメのかけくらべ …… 183
どちらが早い、ウサギとカメが、かけっこしました。
7. 人を水中に引きこむ河童 …… 186
力自慢の侍が、河童を捕まえました。
8. アズキとき …… 194
妖怪アズキときが、ぼたもちをごちそう。

第六章 笑い転げる話 幽默故事

1. くわん、くわん …… 203
ぼたもちを食べたのはあみださま？
2. この下に金なし …… 208
畑の邪魔な大石を、楽に退かす方法。
3. 天狗の隠れ蓑 …… 212
姿の消える不思議な隠れ蓑。
4. どうもこうも …… 220
医者「どうも」と「こうも」の腕比べ。
5. 和尚と小僧 …… 226
和尚と小僧の、歌詠み勝負。
6. ねずみ経 …… 230
どろぼうを追り返した。ありがたいお経とは。



第一章 日本の五大昔話

日本五大故事





1 桃太郎

桃から生まれた桃太郎が、お供を連れて鬼退治。

昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。おばあさんが川で洗濯をしていると、ドンブラコ、ドンブラコと、大きな桃が流れてきました。

「おや、これは良いおみやげになるわ」

おばあさんは大きな桃を拾い上げて、家に持ち帰りました。そして、おじいさんとおばあさんが桃を食べようと桃を切ってみると、なんと、中から元気の良い男の赤ちゃんが飛び出してきました。

「これはきっと、神さまがくださったにちがいない^①」

子供のいなかったおじいさんとおばあさんは、大喜びです。桃から生まれた男の子を、おじいさんとおばあさんは桃太郎と名付けました。



桃太郎はスクスク育って、やがて強い男の子になりました。そしてある日、桃太郎が言いました。

「ばく、鬼ヶ島へ行って、悪い鬼を退治します」

そして、おばあさんにきび団子^{だんご}を作ってもらうと、鬼ヶ島へ出かけました。

旅の途中で、イヌに出会いました。

「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」

「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」

「それでは、お腰に付けたきび団子を1つくださいな^①。お供しますよ」

イヌはきび団子をもらい、桃太郎のお供になりました。

そして、今度はサルに出会いました。

「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」

「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」

「それでは、お腰に付けたきび団子を1つくださいな。お供しますよ」

そして今度は、キジに出会いました。

「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」

「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」

「それでは、お腰に付けたきび団子を1つくださいな。お供しますよ」

こうして、イヌ、サル、キジの仲間を手に入れた桃太郎は、ついに

鬼ヶ島へやってきました。



おにがしま おに ちか むら めす たからもの なら
鬼ヶ島では、鬼たちが近くの村から盗んだ宝物やごちそうを並
べて、酒盛りの真っ最中です。

「みんな、ぬかるなよ。それ㊟、かかれ㊦！」

イヌは鬼のお尻に噛み付き、サルは鬼の背中を引っかき、キジは
くちばしで鬼の目をつつきました。そして桃太郎も、刀を振り回
して大暴れです。とうとう鬼の親分㊧が、

「まいった、まいった。降参だ、助けてくれ」

と、手をついて㊨謝りました。

桃太郎とイヌとサルとキジは、鬼から取り上げた宝物を車に
積んで、元気よく家に帰りました。

おじいさんとおばあさんは、桃太郎の無事な姿を見て大喜びです。

そして3人は、宝物のおかげで幸せに暮らしました。



注 釋

- ① ～にちがいない：（慣用句型）肯定，必定
- ② きび団子：黍子面团子
- ③ ん：助词“の”在口语中的音变，表强调或说明
- ④ な（终助）：接在“ください”“いらっしゃい”等词后，表劝诱
- ⑤ それ：（口号）喂，嗨，哎呀
- ⑥ かかる【掛かる】：着手，从事
- ⑦ 親分：头目，头子，首领
- ⑧ 手をつく【手を突く】：两手触地表示歉意、恳求或感谢





桃太郎的故事

从桃子里蹦出来的桃太郎带着随从去打鬼。

从前，有个地方住着一对老爷爷和老奶奶。一天老爷爷上山去砍柴，老奶奶到河边去洗衣服。老奶奶正在河边洗着衣服，突然咕咚咚、咕咚咚地飘过来一个大桃子。“嘿嘿，这可是件好礼物。”老奶奶捞起大桃子，把它带回了家。老爷爷和老奶奶切开了桃子正准备吃，没想到从里面蹦出来一个神气活现的小男孩。“这一定是神赐给我们的。”没有子女的老爷爷和老奶奶非常地高兴。因为这个小男孩是从桃子里蹦出来的，所以老爷爷和老奶奶就给他取名叫桃太郎。桃太郎蹭蹭地长成了一个非常强壮的小男子汉。

一天，桃太郎说道：“我要去鬼岛制服恶鬼。”于是，老奶奶给他做了饭团子，桃太郎就向鬼岛进发了。在半路上，他碰到了一条狗。“桃太郎，你要去哪儿呀？”小狗问道。“我要去鬼岛打鬼。”“你要是把腰间挂着的饭团子给我一个，我就和你一起去。”小狗得到了饭团子，于是和桃太郎一起朝鬼岛进发了。接着，他们又碰到了猴子。猴子问道：“桃太郎，你要去哪儿呀？”“我要去鬼岛打鬼。”“你要是把腰间挂着的饭团子给我一个，我就和你一起去。”接下来，他们又碰到了雉鸡。“桃太郎，你要去哪儿呀？”“我去鬼岛打鬼。”“你要是把腰间挂着的饭团子给我一个，我就和你一起去。”就这样，桃太郎和狗、猴子、雉



鸡结伴同行，终于到达了鬼岛。鬼岛上，鬼们把从附近村庄偷来的宝物和好吃的堆在一边，喝酒喝得正酣畅。“伙计们，不要掉以轻心哟。嘿，干吧！”随着桃太郎的一声呐喊，狗扑上去咬住了鬼的屁股，猴子去抓挠鬼的后背，雉鸡用它的尖嘴去啄鬼的眼睛。桃太郎也挥舞起大刀横冲直闯。打得鬼头跪地求饶：“服了，服了。我们投降，放过我们吧。”

桃太郎和狗、猴子、雉鸡把从鬼那儿得来的宝物装上车，雄赳赳气昂昂地回家了。老爷爷和老奶奶看到桃太郎平安回来非常地高兴。于是三个人靠着桃太郎带回的宝物过上了幸福的日子。



豆知識

鬼

「^{もも た ろう}桃太郎」や「^{いっすんほうし}一寸法師」など、昔^{むかし}話^{はなし}の名脇役^{めいわきやく}の鬼^{おに}は、想像上^{そうぞうじょう}の怪^{かい}物^{ぶつ}で、^{が き}餓鬼^{じごく}、^{あおおに}地獄^{あかおに}の青鬼^{あかおに}・赤鬼^{びなん}があり、^{びじょ}美男^ば・美女^けに化^{おんがく}け、^{すごろく}音楽^{しい か}・双六^{すぐ}・詩歌^{にんげん}などに優^せれたものとして人間^{かい}世^{あらわ}界^{かい}に現^{あらわ}れます。



あとに^{おんようどう}陰陽道^{せいきょう}の影響^{じんしん}で、人身^{うし}に、^{かど}牛^{とら}の角^{きば}や^も虎^もの牙^もを持^はち、^{はだか}裸^{とら}で^{かわ}虎^{ふんどし}の皮^しの^か褌^しを^か締め、^{かいりき}怪力^{もち}の持^{ぬし}主^しとして^{えが}描^{えが}かれています。

昔^{むかし}話^{はなし}では、^{えん ま}閻魔^{こふん}の子分^{とうじょう}としても登^あ場^あします。

たいていは悪い存在^{わる}ですが、「^{いお}岩^{おに}にな^{にんげん}った鬼^し」など、人間^{にんげん}のために自^じ分^{ぶん}を犠^ぎ牲^{せい}にする鬼^{おに}もいます。

